

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立母衣小学校

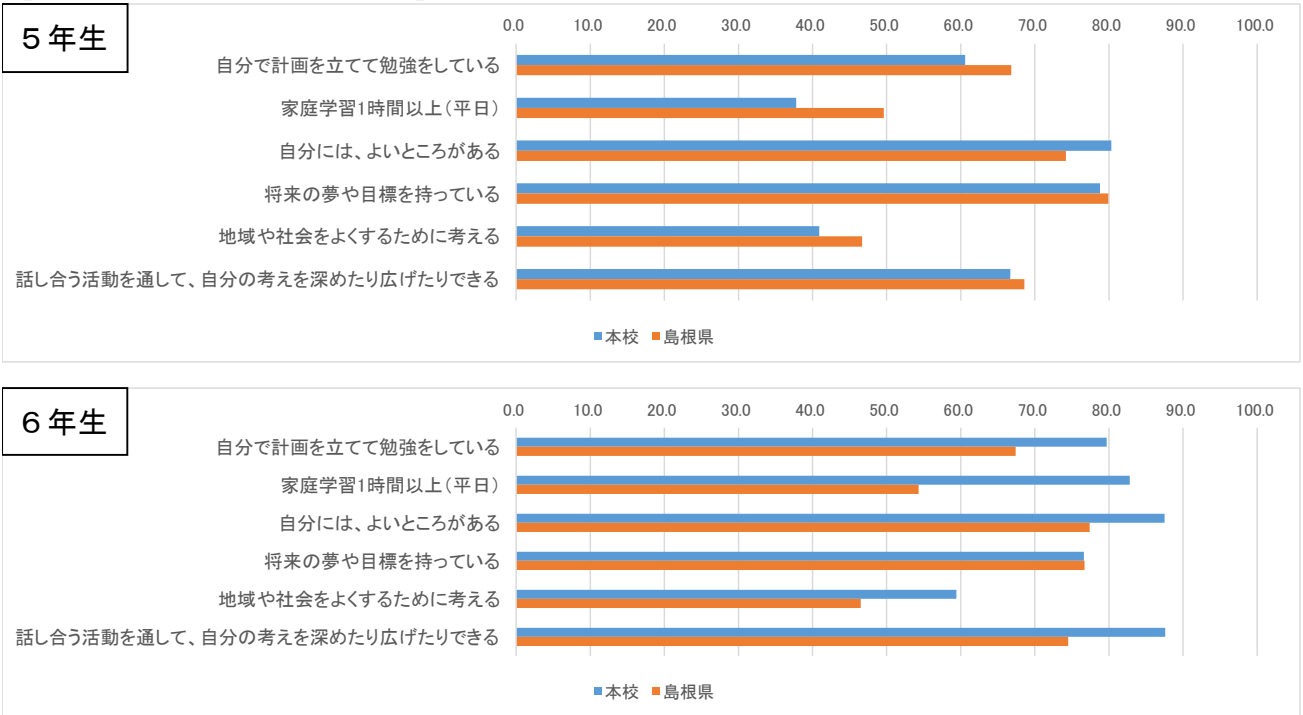
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○「話す・聞く」「書く」「読む」等の領域別の平均正答率では「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の区分で県より上回っており、「読むこと」については全国に近い値を示している。 ○問題の内容別正答率では、「物語の内容を読み取る」では全国より上回っている。 ●平均正答率は全国より「-8.2」県より「-1.3」である。 ●問題の内容別正答率では「報告文を書く」「文章を書く」問題が全国・県から下回っており課題が見られる。	○平均正答率は全国より「+0.7」県より「+7.7」である。 ○「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域別の平均正答率では全国を上回っている。 ○問題の内容別正答率では「インタビューの内容を聞き取る」「漢字を読む」「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」「文章を書く」で県を上回っている。 ●「我が国の言語文化に関する事項」の領域別の平均正答率は全国・県から下回っており、課題が見られる。
算数	○基礎・活用の区分では、活用で県を上回っている。 ○「変化と関係」の領域別の平均正答率では、全国を上回っている。 ○問題の内容別正答率では「単位量あたりの大きさ、比例」で全国を上回る部分が見られる。 ●平均正答率は全国より「-7.0」県より「-0.7」である。 ●問題の内容別正答率では「分数と小数」「分数のたし算・ひき算」で全国、県を下回っており課題が見られる。 ●問題の内容別正答率では「体積」「図形の角」「合同」の問題によっては県の正答率を下回るものがあり、課題が見られる。	○平均正答率は全国より「+12.4」県より「+16.0」である。 ○「数と計算」「図形」「変化と関係」等の領域別の平均正答率ではすべての区分で全国より上回っている。基礎的な問題も活発的な問題も全国を上回り、主体的に学習に取り組む態度も全国を上回る。 ○問題の内容別正答率では「文字と式」「対称な形」「面積と体積」「比と比の値」「データの活用」で全国より上回っている。 ●問題の内容別正答率では「分数のかけ算・わり算」「拡大図と縮図」の問題によっては全国の正答率を下回るものがある。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「自分にはよいところがある」「自分は認められている」「自分の力を伸ばしたい」と考えている児童が多い。自己肯定感に関する意識も肯定的な回答が高い。 ○「宿題はきちんとする」という児童が、県平均よりも高い。 ●睡眠時間は、県と比較すると少ない傾向が見られ「夜は時刻を決めて寝ている」が県平均より低い。 ●「家庭学習を1時間以上する」が、県平均より低い。	○「自分のことが好き」「自分にはよいところがある」「自分は認められている」と考えている児童が、県平均よりも高い。生活習慣の面で比較しても、ほぼ県平均よりも高い割合を示している。 ○「家庭学習を1時間以上する」が県平均に比べてかなり高く、家庭学習の習慣が定着している児童が多い。 ●「将来の夢や目標を持っている」は県平均とほぼ変わらない。 ●「朝食をきちんと食べている」が県平均よりやや少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

66

名

6年生

63

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)